



写真:ヒヨドリ (撮影:平成29年2月22日)

# 「ヒヨドリ」

受粉に一役買っています

気温が上がリ、霧島山は開花の高原を代表するノカイドウ、山肌を彩るヤマザクラなど、私たちの目を楽しませてくれます。平地から山地まで普通に見られるヒヨドリも花が大好きです。といっても、花を觀賞するわけではなく、甘い蜜が目当て。細長いくちばしを花の奥につっこんで蜜をなめ、花から花へ飛び回ります。よほど夢中なのか、顔中花粉まみれの姿はとても愛らしいです。冬から春にかけて咲くヤブツバキは、真冬に昆虫がいないため、ヒヨドリが受粉に一役買っています。

名前の由来は諸説ありますが、「ヒーヨ、ヒーヨ」の鳴き声からついた説が有力です。日本人は一年中見ることが出来るヒヨドリですが、分布がほぼ日本国内に限られ、海外のバードウォッチャーにとっては珍鳥。高い人気があります。

農業害獣のイメージが強いヒヨドリですが、霧島山の自然を構成する一員。赤い頬とツンツンした頭が可愛い魅力的な野鳥です。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ヒヨドリ  
*Hypsipetes amaurotis*

スズメ目 ヒヨドリ科